



シルバー



市の花 つつじ



市の木 さくら



市の鳥 おしどり



さばえ

発行 第64号

公益社団法人 鯖江市シルバー人材センター
〒916-0055 鯖江市上鯖江1丁目4-1

TEL 0778-51-8765 内 0778-51-8773

ホームページアドレス <http://www.sjc.ne.jp/sa-sr/>

メールアドレス sa-sr@sjc.ne.jp

編集 広報委員会

会員数 576名 (平成30年11月30日現在)



迎春

第19回文化祭 日本古典奇術師 ロイヤル山口 マジックショー

「安全・適正就業スローガン」

『これでよし！ 何度も確認 安全就業』



新年のご挨拶

理事長 辻 進 弘

明けましておめでとうございます。ごきげんよう。会員の皆様ご家族の方々に、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は特に自然災害が多発し、被害に遭われた方々には、心からお見舞い申し上げます。そのような中でも、当センター事業運営に対し格別のご協力とご理解を賜り、深く感謝と敬意の念を表するものであります。

さて、新聞記事でご存知の通り、私達の環境は七年后に、超高齢者大国に突入し、七十五歳以上の高齢者は総人口の18%にも上ると云われています。当然ながら「老々介護の増加」「介護職の人材不足」、また、企業の定年制延長策等が、会員の増強に大きな影響を及ぼしています。しかしこの様な環境下にあっても、『会員の増強』に、力を置かなければなりません。

昨年、当センターの今後の在り方またその実現のため、組織強化検討委員会を設置し組織の強化について検討しております。今年は、特に計画的に当センターの運営を進めていくための中長期計画の策定をしなければならぬと考えております。また、引き続き「安全第一」を旗印として更に気を引き締めて、事故防止に努めて下さい。平成三十年十一月



老老介護



外国人介護人材

末現在会員数は57名となり減少。受注額は請負事業及び派遣事業合わせまして二億四五六五万円と昨年と比較して、九〇〇万円の増額です。今後更に会員の皆様と役職員が一体となり、シルバー事業の理念のもとに生きがいと地域貢献に励みたいと望んでおります。

ちなみに、今年の干支は、己亥（つちのとい）の年。この二文字が、そろって意味している事は内なる充実を計り次のステージの準備をする年。2019年のインプットをいつも以上に意識して2020年の新たな展開に繋ぐと良い年だと云われています。

会員の皆様には、今年も相変わリませずご健康にて、ご活躍を祈念いたします。新年のご挨拶といたします。

謹賀新年

本年もよろしく

お願いいたします。

理事長 辻 進 弘
副理事長 三 田 金 造
常務理事 友 永 英 宣
兼事務局長 高 島 三 男

理事 岡 田 千 鶴 子
理事 園 村 日 出 子
理事 高 橋 正 治
理事 大 西 秀 一
理事 石 本 義 幸
理事 日 谷 諭
理事 奥 田 涼 一
理事 酒 井 哲 雄
理事 山 本 信 英
理事 野 尻 茂 野

職員一同



開運招福

さばえの街路ピッカピカ!

《普及啓発活動事業でボランティア》

9月22日（土）、小雨の中、早朝から会員や職員110名がセンター事務所、舟津神社などから4班に分かれ、市内幹線道路の歩道など西山公園まで約2時間の清掃奉仕活動を行いました。お疲れさまでした。



二〇一九年

年男・年女



年男

昭和22年生
新横浜2丁目 堀 道一

早いもので、誕生から七十二年、六回目の年男となりました。私は、高校卒業後、昭和四十一年四月に就職（学校事務）その後、昭和四十九年に結婚、三人の子供を授かり、三人とも結婚後独立しており、現在は妻との二人暮らしであります。また、五十年間勤めた節目を機会に平成二十八年三月に退職しました。

退職後は、鯖江市シルバー人材センターに入会することに決め、平成二十八年四月から会員となりました。会員になって三年弱ですが、この間に沢山の人たちに出会え、色々な経験をする事ができたこと、元気で休まずに活動ができたこと等、シルバー人材センターに入会してほんとうに良かったと思っています。またシルバーの活動以外では、鯖江市防犯隊に入隊して、他の隊員とともに地域のパトロール等の活動に参加し、そのほか、町内の壮年会員（ゆるい年齢制限）として



ても若い人たちと一緒に色々な行事にも参加させてもらっています。このように色々なところで、元気で活動できることは、健康な身体に産んでくれた両親また、周りの人たちの暖かい御支援があったことだからと思います。感謝しています。

今後、元気で他の活動にも積極的に参加して行きたいと思っています。

年男

昭和22年生
新横浜2丁目 吉田 勝美

長寿社会となった今、何歳まで生きられるかは無く、何歳まで元気で居られるか、即ち、健康寿命が大事ではないかと思ひ、現役を引退して直ぐに、健康の森で筋トレ、有酸素運動を始め七年になります。お陰様で現役時代より、足腰が丈夫になりました。体力、氣力が充実していると欲が出て来て、現役時代は仕事一筋で、とても趣味なんて時間的にもゆとりが有りませんでした。お蔭様で退職と同時にシルバー人材センターの会員となり大勢の先輩達に巡り合い、パソコンクラブ、料理クラブ、菊クラブ（なでしこ会）等に入り、先輩達から学ぶことは非常に多く毎回がとても新鮮です。



しては、ある意味人間社会を見ている様で、今、この子は何をしてほしいのか、葉っぱとか全体を見て、水、肥料、消毒の時期等を見極めます。七十二歳となった今、人、菊共に、命の有る限り会話を大切にしたいと思っています。

年男

昭和22年生
松成町 大西 信一

気持ちには若いつもりでも、最近は無理をすると疲れやすく、特に暑さ、寒さに弱くなったのを実感します。

会社勤めの頃は、趣味で鯖江つつじ、福井、南条花はす早朝マラソンなど、各地の大会に参加し、松岡町から福井市までのサイクリングロードコースで行われたフルマラソンでも2回完走しました。走った後のメンバーでの反省会も楽しい思い出です。70歳を境に魚つりにも没頭しています。

シルバー人材センターでは、北中山地区の地域班長を務めています。就業は、主に草刈と畑おこしです。作業後にお客様から「きれいなになりました。助かりました。」と言われる仕事をモツ



トーにしています。これからも健康に注意し、働くつもりです。

年女

昭和22年生
尾花町 佐々木 和子

新年を迎えましておめでとうございます。皆様方には、ご健勝の事とお喜びを申し上げます。

三人の子供にも恵まれてそれぞれ所帯をかまえて安心している今日この頃です。ひ孫も生まれまして顔を見るたびうれしくなります。若い時から、越前漆器の丸物上塗り職人の仕事を覚えてがんばってきました。趣味は、お友達とお食事をしたり温泉に行っておしゃべりする事です。ご縁があつてシルバー人材センターを通して、主に公民館でお仕事をさせてもらい、色々な人達に支えられながら八年になり喜びを感じております。ありがとうございます。

これからもよろしくお願い致します。

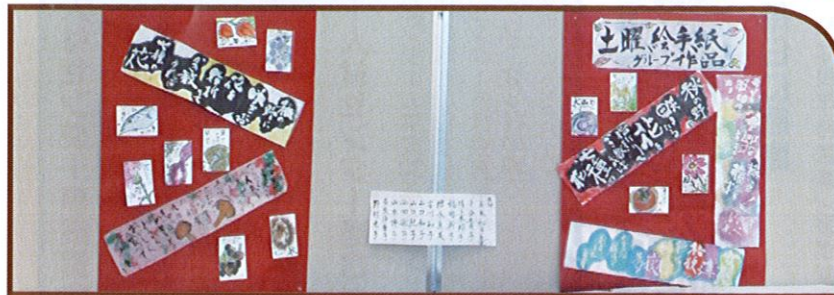




ポン菓子販売



皇風煎茶禮式



シルバー&ふれあいみんなの館・さばえ

第19回 文化祭

(公社)鯖江市シルバー人材センター 2018.11.03



牧野市長



たい焼き販売



フリーマーケット



手芸体験コーナー



会員創作展示



野菜販売



アトラクション



ふくい元気・ シルバースタ 2018 in 敦賀

平成30年
9/8(土)

会場：プラザ萬象

ふくい元気・シルバースタ in 敦賀
9月8日(土) 敦賀市プラザ萬象にて開催

ステージでは、式典後、講演「人道の港敦賀ムゼウム」、地元のスコップ三味線や会員アトラクションなど披露されました。

鯖江市シルバー人材センターからは、会員42名が参加しました。

当センターの折り紙教室は、子供から大人までかわるがわる訪れ大変好評でした。

ペン紀行

毎日に感謝



私は長年自営業（眼鏡製造）を営んできましたが、5年前に入会させていただきました。「井の中の蛙、大海を知らず」で、どうなる事かと心配しておりましたが、さまざまな人たちと出会い、有意義な時間を過ごしております。子どもや孫のような人たちに、「いつてらっしゃい」「気を付けてね」と声をかけ、笑顔が戻ってくるとうれしくなります。私も若い方と接することで、気持ちが明るくなります。いかにコミュニケーションが大事か今更ながら実感しています。

職場の方々にも気持ちよく過ごしていただけたらよい、私なりに一生懸命に仕事をさせていただきたいです。

南井町

小林 啓子



◆福井県シルバー人材センター連合から

県内15シルバー人材センターの平成30年4月～8月についての会員入退会状況は10名増となりました。9センターで会員増となりましたが6センターでは会員数が減少しました。鯖江市シルバー人材センターは8名の減でした。

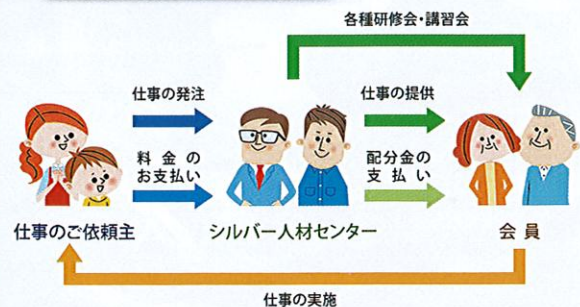
(平成30年8月末会員数 8348人)

◆全国シルバー人材センター事業協会から

今年度から平成36年度までを計画期間とした「第2次会員100万人達成計画」を掲げました。鯖江市シルバー人材センターは計画終了年度（平成36年度）に、計画達成会員数837人と示されました。

(平成30年7月末会員数 70万9630人)

シルバー人材センターとは



高齢者に地域社会に密着した臨時的・短期的な仕事を提供する団体。

私の趣味



鳥羽三丁目 北嶋 雅信

書を楽しむ

最近知らない人と会話をする機会も少なくなってきたが、若いころ、趣味は？と聞かれれば「書道を少し」などと答えていた。今は、「道」の字は使っていない。道を踏み外したからではなく、その重さ、匂いが嫌になったから。

さて、「書」について何か書かねばならない。書を習い始めたのは、字が上手になりたいなどごく当たり前の理由以外に、不遜な動機が一つあった。これは次回に……とは言わない。同時に書を始めた親友も急に亡くなり永遠の秘密となった。最初は勤務先の書道部に入部、会派は独立系で、この先転勤まで続けることになるが、入部草々に指導者が弟子の成長より貯金の方が好きと判明したため、すでに引退しておられた別の会派の先生に無理を言って入門、転勤まで三年間、個人指導で楷書一筋の稽古を続けた。このころは単身赴任で、老後のためと墨を買いあさっても妻には知られず（今、役に立っている）、時間も十分にあり、夜、一人静かに墨を磨り、その香りと色に酔いながらの稽古は無上の楽しみであった。

翻って、現在とは問われれば返事はなかなか難しい。帰郷後、恩師窪田瑞穂に師事。未熟を理由に社中展以外の公募展への出品は断っていたが、師の勧めもあって止む無く出品開始。結果として、幾つかの団体に関与、そちらへの出品の期限に追われ、展覧会での役割も与えられた。所属会派（大阪璞社↓伝統派です）での地位も少し上げれば、お金の話で恐縮だが、年会費、出品料も破格である。ただ、日展審査員である現在の師はお金のことは何も言わず、指導も親切で喜んでくれる。さて、年寄の義務？として、昔話を長くしたが、趣味とは人生を豊かにしてくれるものである。

り、必ずや「楽しみ」を伴うはずと思っている。「書も芸術であるから、自分の作った漢詩（鶴陽吟社に入会）を自分の字で書き、自分のためだけの作品を作りたい。」そのために、「夜中、一人で磨墨と稽古。疲れば、冷酒を一口。」趣味はと聞かれれば、「書を楽しんでまゐります。」と明快にお返事。早くそういつことになりたいなあ。

北嶋氏の作品

晴日暖風生麦気
緑陰幽草勝花時

晴日暖風生麦気
緑陰幽草勝花時

晴日 暖風 麦気 生じ
緑陰 幽草 花時 勝る



上鯖江二丁目 重野 護

へぼ将棋

月日のたつのは早いものです。こどもの頃を思い出しますと、夕方によく将棋を指した事がなつかしいです。私が将棋を教えてもらったのは、指物師のおじいちゃんでした。将棋も色々遊びがあります。初めは、チョンチョン回り、カエル飛び、山くずし、ハサミ将棋、その後に本将棋を習いました。本将棋は、それぞれの駒に進む道があり覚えるのに大変でした。初め二年生ぐらいまでは、飛車落ちで試合をしました。負けばかりでした。四年生で、六分、四分で勝つことができました。うれしかったです。その後、あまり指すことが出来ませんでした。就職してから職場に将棋の好きな人が三人程いて、昼休みによく指していました。今は、土曜日平日は八人程でやっています。勝負は力の差がありますと余り面白くありません。五分五分の人と戦って、勝った時は気分はいいです。負けると一寸ストレスがたまります。

将棋も名人戦、竜王戦、王将戦など福井の西別院で色々な大会があります。私も、丹南地区代表で時々参加します。三年生の子供さんに負ける時もあり、その時は面白くありませんが、私は、「僕強いね、上手ね」言いますと「二ツ」と笑っています。考えると認知症の予防になると思って今は楽しく指しています。



事務局からの お知らせ

配分金の税申告について

シルバー人材センターから支払われた**配分金**は【家内労働者等の事業所得計算の特例】により雑所得として取り扱われます。平成30年分の『**配分金支払い調書**』を送付しますので、各自で必要な書類と合計して税務署（確定申告）もしくは市役所税務課（市・県民税申告）へ申告して下さい。

会員募集

鯖江市内に居住されており、60歳以上の方。
特に剪定、草むしり、草刈ができる方が不足しています。
ご紹介ください。



働く意欲満々の方

会員研修会のお知らせ

日時 ①2月28日（木）
②3月1日（金）
③3月2日（土）

9時30分～11時30分
受付9時～



場所 「ふれあいみんなの館さばえ」

研修会概要

- ・安全・適正就業に関すること
- ・事務局より連絡事項

研修会は、3日間実施します。
安全・適正就業していただくために研修会の参加を義務付けています。

「いずれかの日程の日**に必ず参加すること。**」

会員俳句

「正月」

- ・会わざれば賀状の君はまだ若し
- ・鉛筆を削り揃えて初句会

亀水ふじを



就業相談日のご案内（要予約）

未就業の方や現在の就業に満足できない方々のお気持ちをお聞きし、より良い就業ができるように相談日を開設します。

期 日	時 間	場 所
1月15日（火）	午後1時30分 ～午後3時	（公社） 鯖江市シルバー 人材センター
2月15日（金）		
3月15日（金）		

「ふれあいみんなの館さばえ」 清掃奉仕活動！

平成30年12月18日午前、町内の方や利用者の皆さん方に館内の清掃をして頂き、すっきりきれいになりました。



ありがとうございました。

心からご冥福を

お祈り申し上げます。

三田村美智子様（73歳） 下新庄町

編集後記

昨年2月、北陸地方は37年ぶりとなる豪雪で国道八号線は石川県境にかけ大渋滞、1500台超の車の立ち往生が発生しました。7月、西日本各地では記録的な大雨になり、死者行方不明者200名超の甚大な被害を残しました。雨雲が去ると今度は連日の猛暑、熱中症で救急搬送される人が相次ぎました。そして9月、台風や北海道での大地震など日本列島は自然災害に翻弄された1年でした。観測史上初めてとか、今まで経験したことのないとかの気象庁の発表に、これくらいならまだ大丈夫などと思わず、自分の命は自分で守らなくてはと痛感させられた出来事でした。

今年こそは平穏無事な1年でありますようにと心から願いたいものです。

広報委員 中村かおる

